

山口耕司 議員

昨年の台風12号災害を 教訓とした防災対策について

○防災行政無線について

山口 昨年6月議会で導入の必要性を訴え、市長からは「導入は、市役所新庁舎や新消防庁舎の整備等も併せて、財源的には有利な起債の活用も含め検討する。」との答弁があった。災害は待つてはくれない。

総務部長 整備済みの大塔地区を除く全地域が整備対象で、現在、新規に設置した自治体への実地調査や、これから整備を予定する自治体等と協力し、スピーカー音量の到達実証実験に参加するなど研究を行ってきた。今後も引き続き検討を続けてまいりたい。

山口 五條市は災害について全国から注目的である。防災マップ等も含めて、よりよいものを作っていかなくってはならない責務があると考ええる。

市長 このことは大変重要な位置付けにあると考えている。市民の安全安心を考え、今後も鋭意努力したい。

○避難場所・避難所の 案内明示看板について

案内明示看板について

山口

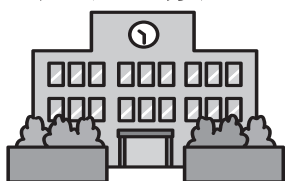
広告付き避難場所看板の設置を提言する。電柱にこの看板を設置している自治体は多くあり、亀山市は2社と避難場所を明示した広告付き電柱看板設置の協定を締結している。市道上に立つ電柱看板には、電柱とは別に道路占用料が課され、広告主の負担となるので、市と協定を交わし、広く市民に有益な広告付き避難場所看板に限定して、道路占用料を減額、又は無料化している。防災看板の普及を促進すべきと考える。

総務部長 災害発生時に避難場所を周知する有効な手段で、避難体制の整備推進や防災意識の向上からも大変重要と考える。電力会社や広告主などの社会貢献活動の一環として民間活力により整備されたということの提言を参考に今後検討してまいりたい。

市長 防災マップ

作成時に看板を設置すれば有効と考え、前向きに検討する。

避難場所



福塚 実 議員

市営住宅の増改築の 調査結果について

調査結果について

福塚

本年度から職員による市営住宅の外観調査や聞き取り調査を実施し、更に詳しい増改築規模や利用形態等の実態調査をするとして結果はどうなっているか。

都市整備部長

調査対象戸数は、91戸で、それぞれの増築状況を増築面積、増築形態等により定量化し、特に問題があると判断される10名の入居者のうち未通告の9名に対して趣旨を説明し、条例に基づく通告を行った。今後、規模、形態を勘案し、弁護士等の意見を参考にしながら適切に対応してまいりたい。

通学路の危険箇所等の 調査結果とその対策について

調査結果とその対策について

福塚

安全な通学路の確保についての対策、整備等の調査結果はどうか。

教育部長

生徒指導研究協議会において関係者が一堂に会して協議を行い、危険箇所全ての合同点検を実施したところであり、関係機関と連携を取って安全確保のため

頑張って
まいりたい。

学校給食費の収納等について

福塚

現在、給食費滞納の収納は、教師が家に出向いているが、教師の負担も大きく、生徒とのコミュニケーションにも問題が生ずると考えるがどうか。

教育部長

教頭・学級担任等が連携し、納入文書の送付や電話による納入依頼等を行っているが、過年度の滞納者に配慮しながら訪問徴収をしている。

教育部長

生徒の実態を一番知っている担任等が配慮しながら徴収するのが妥当であるとしている。学校と連携を取って検討・研究してまいりたい。

小・中学校の 空調設備設置について

空調設備設置について

福塚

五條東中学校生徒棟で空調設備が設置されたが、今後の計画はどのように進めていくのか。

教育部長

五條東中学校は国道に隣接していることから最初の設置となった。今後、学校周辺環境、教室内温度等に配慮し、財政当局と協議しながら計画的に進めてまいりたい。

